

令和元年度鳥取県福祉研究学会事業計画

1 事業運営方針

現代の社会福祉施策が始まって以来70余年が経過し、急速な少子高齢社会の進展と相まった人口減少社会の到来、家族態様の変容等、社会状況等の変化に対応してその施策も変化してきている。

このような中で、市民を中心とした福祉フォーラムや学習会の開催など、市民から熱心に福祉のあり方を考える気運が高まってきているが、かつて経験しなかった社会構造の変化に伴う、新たな時代の新たなニーズへの対応は難しくなってくると考えられる。

また、福祉現場において、第一線を担ってきた団塊の世代を形成する役職員は引退し、現役時代に培ったノウハウをいかに社会継承するかも大きな課題である。

そこで、私たち福祉に関わる者が広く連携して、これからの福祉のあり方を研究し、研鑽し、お互いの資質向上を図るとともに、その持てるノウハウ等を共有し、更に発展させ、もって鳥取地域の福祉社会の発展向上を図る。

2 会務の運営

(1) 総会の開催

年1回：7月 6日（土）13：00～ 県立福祉人材研修センター

(2) 理事会の開催

第1回：4月19日（金）10：30～ 県立福祉人材研修センター

第2回：7月 6日（土）11：00～ 県立福祉人材研修センター

第3回：2月15日（土）10：00～ 鳥取看護大学・鳥取短期大学

(3) 監事会の開催

年1回：4月10日（水）10：00～

(4) 審査委員会の開催

年2回

事前審査委員会：2月 4日（火）13：30～ 県立福祉人材研修センター

最終審査委員会：2月15日（土）14：10～ 鳥取看護大学・鳥取短期大学

3 実施事業

(1) 研究発表会の開催

2月15日（土）10：30～ 鳥取看護大学・鳥取短期大学

(2) 授賞・推薦

① 学会奨励賞

研究発表の内容が優秀な者に学会奨励賞を授与する。（5部門）副賞：各2万円

② 県知事賞候補の推薦

研究発表の内容が最も優秀な者を県知事賞候補者として推薦する。

(3) 啓発広報

① 県社協メールニュース、機関紙「志あわせへ」

② 福祉情報誌「HOTeye」への掲載

③ 募集要項の作成・配布（鳥取県、県社協等の主催する各種研修会で配布）

④ ホームページでの周知